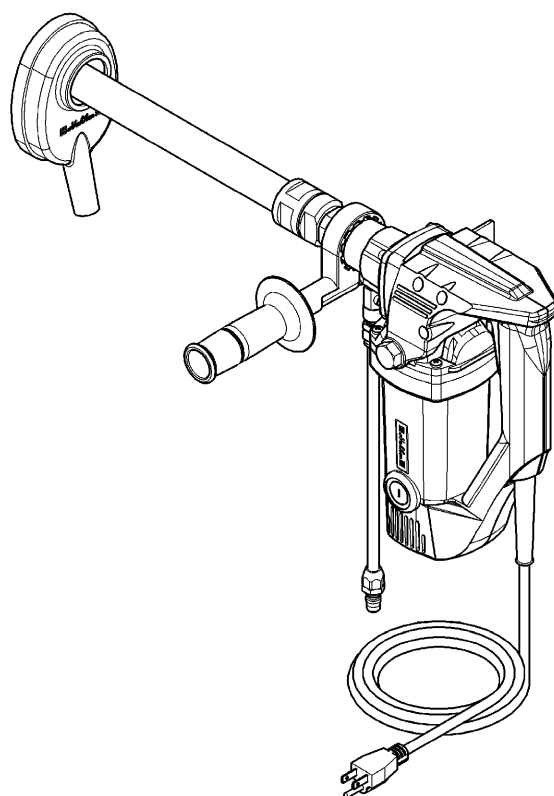
Hakken

アンカードリル （湿式）

ADW－030H－S

取 扱 説 明 書

◎ このたびはお買い上げいただき、 ありがとうございました。

◎ ご使用前に、 この「取扱説明書」 すべてをよくお読みのうえ、 指示に従って正しく安全に使用してください。

◎ お読みになった後は、 お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

注意文の「⚠警告」、「⚠注意」、「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」と「ポイント」に区分していますが、 それぞれ次の意味を現します。

⚠警告 : 誤った取扱いをした時に、 使用者が死亡または、 重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠注意 : 誤った取扱いをした時に、 使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
ポイント : 製品の据付け、 使用方法、 メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「⚠注意」 に記載した事項でも、 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、 必ず守ってください。

目 次

１．警告 および 注意

◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「電動工具の安全上のご注意」「アンカードリルの使用上のご注意」「アンカービットの使用上のご注意」を必ず守ってください。

◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】電動工具の安全上のご注意

⚠ 警　告

1．指定された用途以外には使用しないでください。

2．施工場所には作業者以外近づけないでください。
　◎ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

3．施工場所の周囲状況も考慮してください。
　◎ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
　◎ 施工場所は十分明るくしてください。
　◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
　◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。

4．きちんとした服装で作業してください。
　◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
　◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
　◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

5．安全保護具を使用してください。
　◎ 作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

6．無理な姿勢で作業をしないでください。
　◎ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7．油断しないで十分注意して作業を行ってください。
　◎ 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
　◎ 回転物には、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
　◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
　◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

8．感電に注意してください。
　◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
　◎ 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。

⚠ 警 告

9．コードを乱暴に扱わないでください。
◎ コードを持って電動工具を運ばないでください。
◎ コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
◎ コードを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。

10．指定の付属品やオプション品を使用してください。
◎ 本取扱説明書およびコンセックカタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますから使用しないでください。

11．損傷した部品がないか点検してください。
◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。
◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
◎ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。

12．次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
◎ 使用しない、または、修理する場合。
◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
◎ その他危険が予想される場合。

13．調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14．電動工具は注意深く手入れをしてください。
◎ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
◎ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
◎ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

15．きちんと保管してください。
◎ 乾燥した場所でお子様の手の届かない安全な所または、錠のかかる所に保管してください。

16．不意な始動は避けてください。
◎ 電源につないだ状態で運ばないでください。
◎ プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

17．屋外使用に合った延長コードを使用してください。
◎ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警 告

18．作業に合った電動工具を使用してください。
◎ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

19．電動工具の修理は専門店に依頼してください。
◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

【2】アンカードリルの使用上のご注意

⚠ 警 告

1．電線管、ガス管、水道管などの埋設物に注意してください。
◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。
◎ 壁・床などに穴あけを行う場合は、埋設物のチェックを十分に行ってください。

2．ゴム手袋・ゴム長靴は必ず着用してください。
◎ 本機は水を使用するため、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。

3．天井面への作業はしないでください。
◎ 本製品は水を使用するため天井面への穴あけはモータ内部に水が入り、非常に危険です。

4．高所での作業は関係法令に従って作業してください。
◎ 安全な足場を確保して、足場より1．5m以上での作業はしないでください。
◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのあるしっかりした足場を確保してください。
◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。

5．貫通側の安全面に注意してください。
◎ 貫通穴あけ時に、切削コアがアンカービット内から抜け落ちたり、切削水が漏れたりすることがありますので、人や物にあたらないように、防護対策や処理方法を確実に行い、作業を始めてください。

6．漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。

7．使用電源は銘板に表示してある電源を使用してください。
◎ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

8．電源プラグを差込む前にロックレバーがOFFになっていることと、スイッチロックボタン（以下ロックボタン）が入っていないことを必ず確認してください。
◎ メインシャフトのロックレバーがONの状態でトリガースイッチを入れると、ロックされた状態のため、回転しなくギヤが破損する恐れがあります。
◎ トリガースイッチのロックボタンが入った状態で固定されていると、気づかずにプラグを電源に差込んだとき、不意にメインシャフトが回転し大変危険です。

9．吸着式水処理パッドは必ず使用してください。
◎ 作業中に水が飛散して、モータ内部に水が入るのを防止するためにも、吸着式水処理パッドは必ず使用してください。
◎ 吸着式水処理パッドを使用するときは、落下および水漏れがないようにしっかりと吸着させてください。

⚠ 警 告

10．サイドグリップを必ず取付けて、アンカードリルをしっかりと保持してください。
◎ 穴あけ中は、アンカードリルに大きな回転反力がかかります。特に、切込み時や、誤って鉄筋を切削した場合に注意してください。

11．メインシャフトにガタや振れがないことを確認してください。
◎ メインシャフトの振れが大きいと、アンカービットが破損し、けがをする危険があります。

12．レジューサおよびアンカービットはしっかりと取付けてください。
◎ レジューサ（G 1/2 ねじ）のねじ部根元のテーパが、メインシャフトにはまり込むまでねじ込んで、必ずスパナで強く締付けてください。

◎ アンカービットのねじ部が、レジューサ（Asロッドねじ）にはまり込むまでねじ込んで、必ずスパナで締付けてください。

13．絶対に片手で穴あけを行わないでください。
◎ ハンドル・サイドグリップを持って、アンカードリルをしっかり固定できるようにしてください。

14．穴あけ面に対して直角になるように穴あけを行ってください。

15．回転中のアンカービット・メインシャフトには絶対に触れないでください。
◎ 回転中のアンカービットやメインシャフトには、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。

16．モータの風穴をふさいだり、風穴に物を入れないでください。

17．穴あけ途中にアンカードリルをこじったり、無理に強く押付けたりしないでください。
◎ モータに無理がかかるばかりでなく、アンカードリル自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

18．異常時にはただちに作業を中断し、電源からプラグを抜いてください。
◎ 切削中にアンカービットが止まったり、異音を発した時は、ただちにトリガースイッチを離してメインシャフトの回転を止めて、電源からプラグを抜いてください。

19．石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料に穴あけをするときは、関係法令に従って防じん対策をしてください。

20．当社専用のアンカービット以外は使用しないでください。
◎ 指定以外のビットを使用されるとトラブルの原因になります。

21．最大ビット呼径を超えるアンカービットは使用しないでください。

22．最大穴あけ深さは、400mmを超えないでください。
◎ 深さ400mm以上の穴あけを行わないでください。

23．貫通穴あけをする場合は、貫通する直前に推力(押付け力)を弱めてください。
◎ 貫通時の勢いで身体が不安定になったり、飛散した切削片があたって、けがをする危険があります。また、貫通時に切削コアが抜け落ちて、けがをする危険があります。

24．サイドグリップを持って運ばないでください。
◎ サイドグリップの締付けが弱いと、アンカードリル本体がはずれ落下する危険があります。

⚠ 注 意

1. アンカービットが穴あけ面に接した状態で、 モータを回転させないでください。
   ◎ アンカービットやアンカードリルの破損の原因となります。

2. 穴あけ作業はアンカービットが全速回転になってから行ってください。

3. 無理して使用しないでください。
   ◎ 安全に能率よく作業するために、機器の能力に合った速さで作業してください。

4. 作業中に誤ってロックレバーをONに入れて、 メインシャフトをロックさせないようにしてください。
   ◎ ギヤ等が破損する恐れがあります。

【3】アンカービットの使用上のご注意

▲ 警 告

1. アンカービットの取扱説明書をよく読み指示に従って正しく使用してください。

2. 当社指定のアンカードリルに取付けて使用してください。

3. アンカービットにひび割れ・欠け・変形がないことを目視や手で確認してください。

4. アンカービットのチップ(刃部)・シャンク部に異常摩耗がないことを確認してください。
   ◎ 異常摩耗を発見した場合は、アンカービットを交換してください。
   ◎ 耐震補強工事を目的としたアンカービットです。 鉄筋を切削するとチップの異常摩耗やシャンク部の破損の恐れがあります。

5. 急激なこじり・大きな衝撃などを与えないでください。
   ◎ アンカービットの刃部の破損やシャンク部が変形する原因となり危険です。

6. アンカービットを落としたり、 ぶつけたりしないでください。 アンカービットの振れの原因となり、アンカービットが破損することがあります。

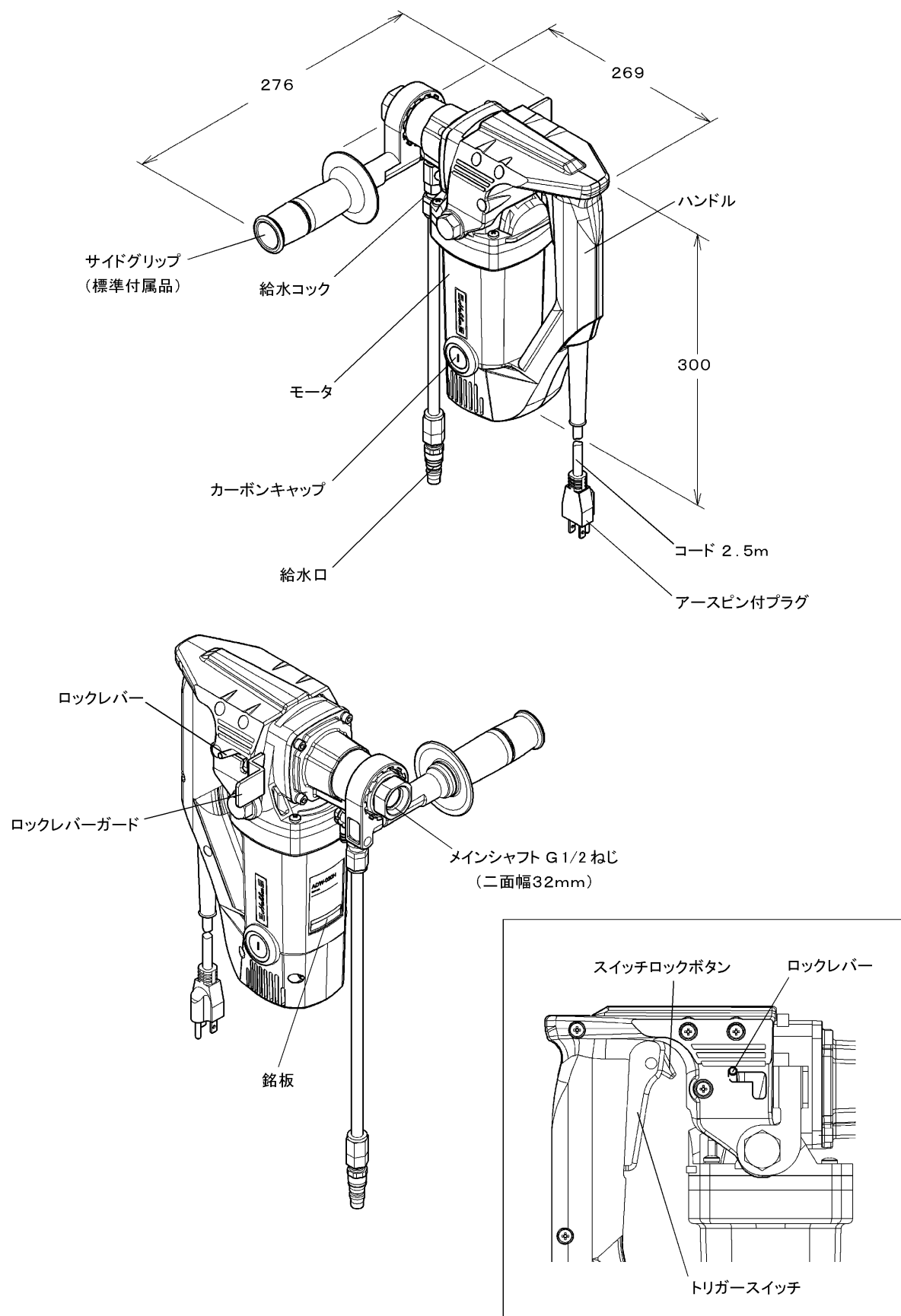
7. アンカービットの形状を変えるような加工をしないでください。

⚠ 注 意

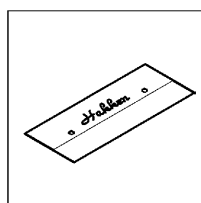
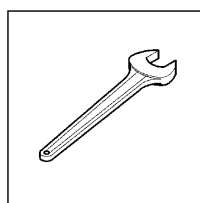
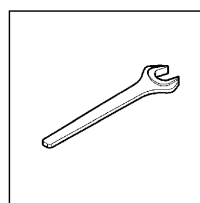
1. レジューサおよびアンカービットの取付けねじ部にはグリースを塗布してください。
   ◎ レジューサおよびアンカービットを取付ける時に、 ねじ部にグリースを塗布しておくと作業後の取りはずしが容易になり、 錆付き防止にもなります。

2. 穴あけをする時は必ず給水を行ってください。
   ◎ アンカービットは、 加熱すると寿命が短くなり切削能率も低下するため、 必ず給水を行ってください。
   ◎ 清水以外（循環水等）の水を使用すると、アンカードリルの故障の原因となります。 必ず清水を使用してください。

２．各部の名称

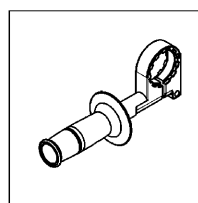
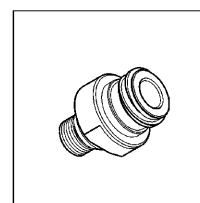
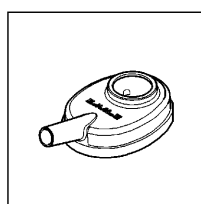
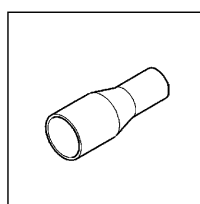
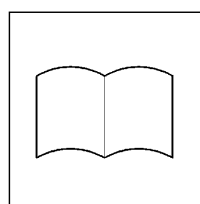
276
269
ハンドル
サイドグリップ
（標準付属品）
給水コック
モータ
300
カーボンキャップ
給水口
コード 2.5m
アースピン付プラグ
ロックレバー
ロックレバーガード
メインシャフト G 1/2 ねじ
（二面幅32mm）
銘板
スイッチロックボタン
ロックレバー
トリガースイッチ

３．仕 様

型式名		ADW－030H－S
モータ		単相直巻整流子モータ
使用電源		単相交流 50／60Hz 電圧 100V
定格電流		15A
最大出力		2600W
無負荷回転速度		6000min^{-1}
適用アンカービット呼径		10～32mm
アンカービット取付ねじ	メインシャフト	G1／2ねじ
	レジューサ取付け時	Asロッドねじ
質量（コード除く）		4．6kg

４．標準付属品

工具袋
t0．3×149×363
… 1ケ

片ロスパナ
36mm
… 1ケ

片ロスパナ
32mm
… 2ケ

サイドグリップ
… 1ケ

レジューサ
G 1/2 →Asロッドねじ
… 1ケ

吸着式水処理パッド
AP－32W
… 1ケ

ジョイント22－38
… 1ケ

取扱説明書
… 1ケ

５．用 途

◎ 耐震補強工事のアンカー下穴あけ。
◎ 打撃音を出せない場所での穴あけ。

６．オプション品 （別売）

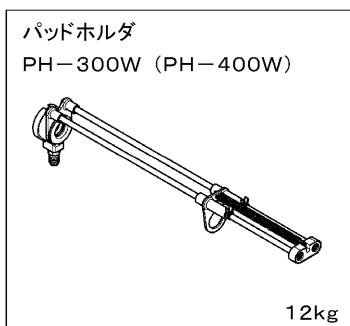
ADW用アンカービット
Asロッドねじタイプ

湿式専用のアンカービット（Asねじタイプ）で、穴あけの径に応じて、各サイズがあります。

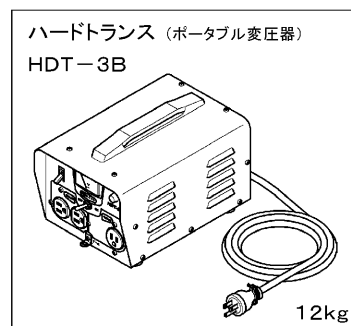
呼径	外径×内径 [mm]	有効長 [mm]	全長 [mm]
10.0	10.1×6.1	150	196
10.5	10.6×6.6		
12.5	12.6×8.6		
12.7	12.8×8.8		
14.5	14.6×10.5	200	246
16.0	16.1×12.1		
18.0	18.1×13.1	250	296
19.0	19.1×14.1		
20.0	20.1×15.1		
22.0	22.1×17.1	300	346
24.0	24.1×19.1		
25.0	25.1×20.1		
28.0	28.1×23.1	350	396
30.0	30.1×25.1	400	440
32.0	32.1×27.1		

※ 全長は新品時チップの先端を含めた長さです。

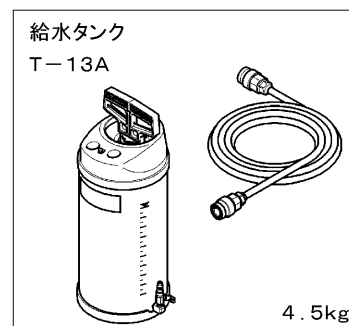
パッドホルダ
PH－300W（PH－400W）

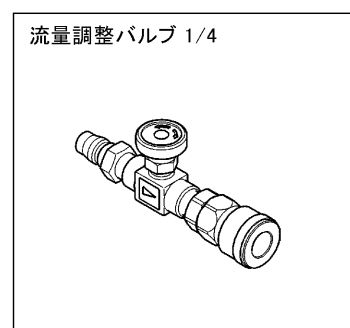
12kg

吸着式水処理パッドが吸着しない場所での穿孔作業に本体に取付けて使用します。

ハードトランス（ポータブル変圧器）
HDT－3B

12kg

電源電圧が低下している時や、200V電源を100V・115V・120Vに変圧したい時に使用します。

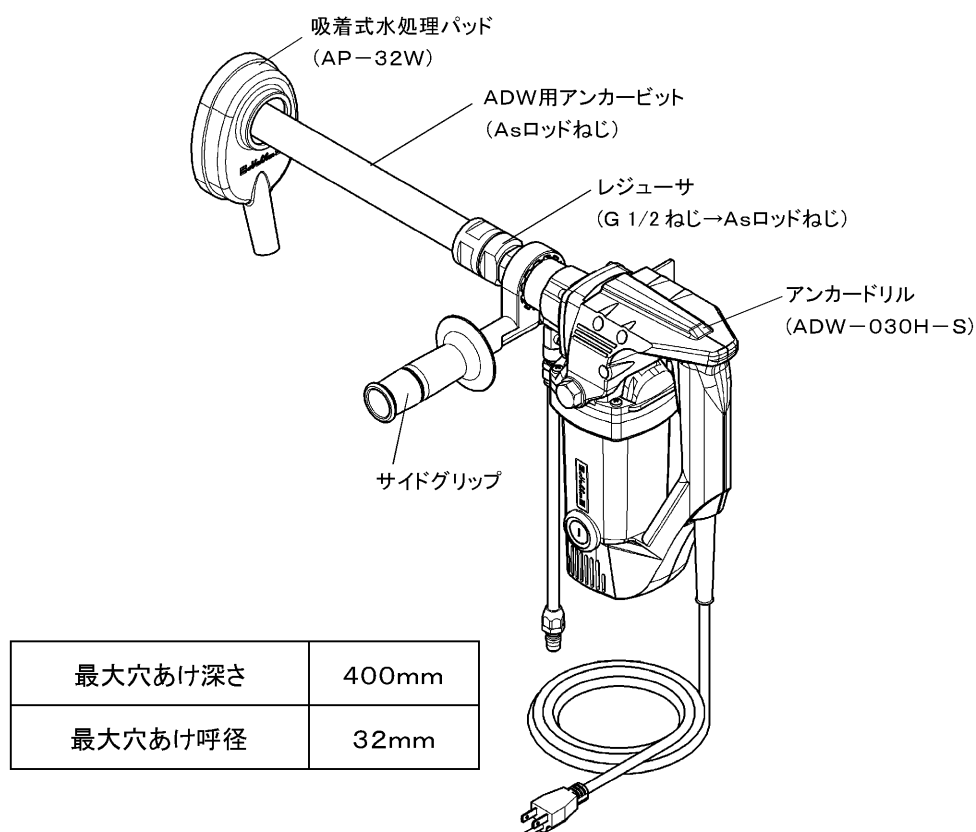
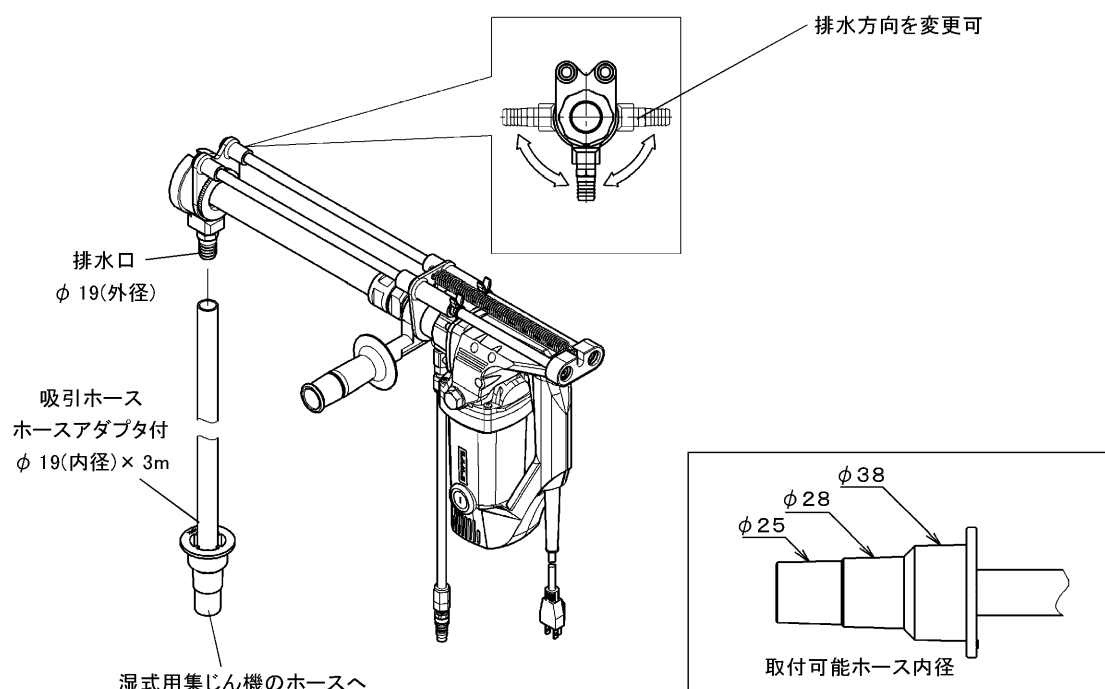
給水タンク
T－13A

4.5kg

給水の不便な場所で使用します。
タンク容量は13リットルで、空気圧により高所へも注水できます。

流量調整バルブ 1/4

切削水量を調整するバルブです。
バルブで微調整しておけば、給水コックの開閉だけで済みます。

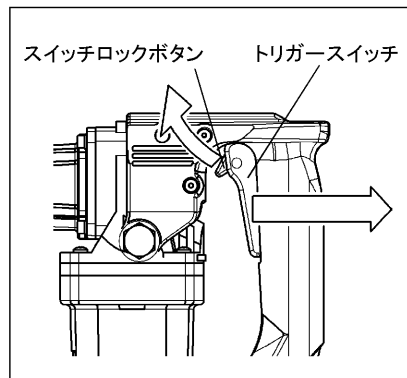
７．使用時全体図 および 仕様

【1】ADW－030H－S 外観図

最大穴あけ深さ	400mm
最大穴あけ呼径	32mm

【2】オプション品のパッドホルダー PH－300W（PH－400W）使用の場合

※パッドホルダーPH－300W（PH－400W）の取扱説明書を良くお読みのうえ指示に従って正しく使用してください。

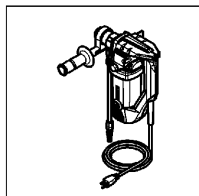
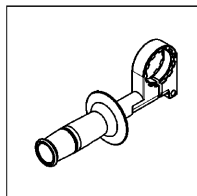
８．使用方法

◎ 本製品はソフトスタート回路を内蔵しています。トリガースイッチを引くと、モータ起動時の反動を抑え、メインシャフトがスムーズに回転しはじめます。トリガースイッチを離すとメインシャフトの回転が止まります。

◎ トリガースイッチを引き、ロックボタンを矢印の方向に上げると、トリガースイッチが固定されます。メインシャフトを停止させるには、もう一度トリガースイッチを引いてください。ロックボタンが解除され、トリガースイッチがOFFの状態に戻ります。

⚠ 警 告

穴あけ作業以外の時は、必ずプラグを電源から抜いてください。

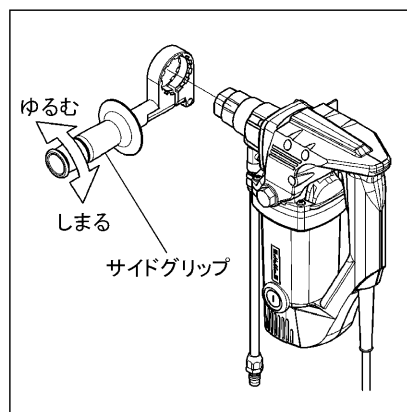
【1】サイドグリップの取付け

準備するもの

アンカードリル
… 1ケ

サイドグリップ
… 1ケ

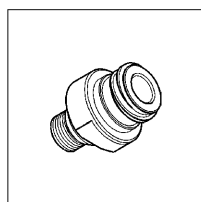
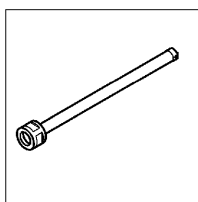
◎ サイドグリップをアンカードリルに取付け、しっかり締付けて使用してください。サイドグリップは360° どの位置にも固定できます。作業しやすい位置に調整し、固定して使用してください。

⚠ 警 告

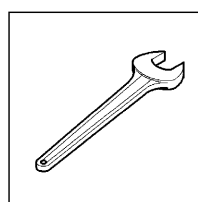
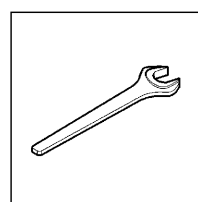
1. サイドグリップを取付けないで作業を行うと危険です。サイドグリップは必ず取付けて、両手でしっかりと保持して作業してください。

2. サイドグリップが締付け不足の状態で作業を行うと危険です。アンカードリルにしっかりと締付けて固定してください。

【2】レジューサおよびアンカービットの取付け

準備するもの

レジューサ
G 1/2 →Asロッドねじ
… 1ケ

ADW用アンカービット
Asロッドねじ
… 1ケ

片口スパナ
36mm
… 1ケ

片口スパナ
32mm
… 2ケ

① レジューサ（G 1/2）ねじ部にグリースを少量塗布して、レジューサのテーパがメインシャフトにはまり込むまでねじ込んで、必ずスパナ(32mm×2本)で強く締付けてください。

② アンカービット内ねじ部にグリースを少量塗布して、レジューサ（Asロッドねじ）のねじ部がアンカービットねじ部にはまり込むまでねじ込んで、必ずスパナ(32mm・36mm)で締付けてください。

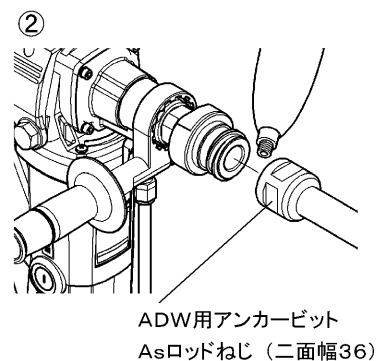
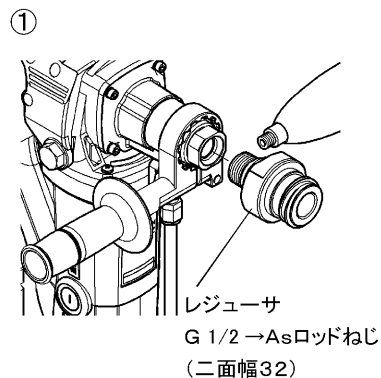
⚠ 警 告

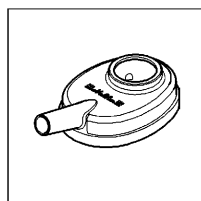
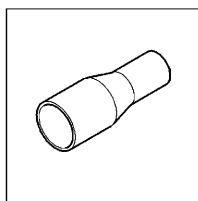
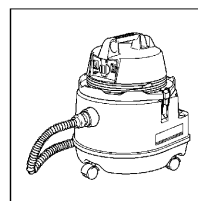
レジューサおよびアンカービットの取付け・取りはずしは、必ず電源コードのプラグを電源から抜いて行ってください。

⚠ 注 意

レジューサおよびアンカービットを取扱う時は、ゴム手袋を着用し、けがのないように注意してください。

ポイント

レジューサおよびアンカービットを取付ける時、グリースを塗布することにより、作業後の取りはずしが容易になります。

【3】吸着式水処理パッドの取付け

準備するもの

吸着式水処理パッド
AP－32W… 1ケ

ジョイント22－38
… 1ケ

湿式用集じん機
… 1ケ

1) 吸着式水処理パッドの排水口に、湿式用集じん機のホースを接続してください。

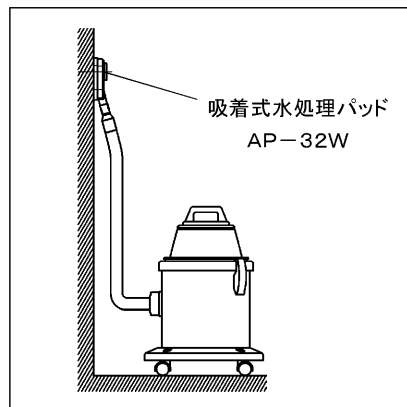
ポイント

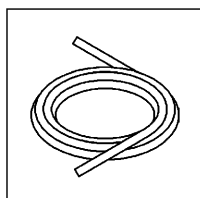
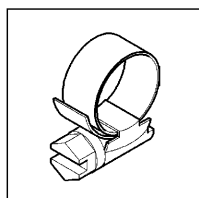
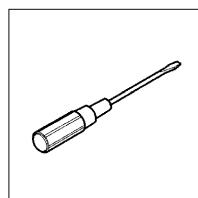
集じん機のホースがφ38mmの時は、標準付属品のジョイント22－38を使用して口径変更してください。

2) 湿式用集じん機のスイッチを入れてください。

3) 吸着式水処理パッドを穴あけ位置にあわせて吸着してください。

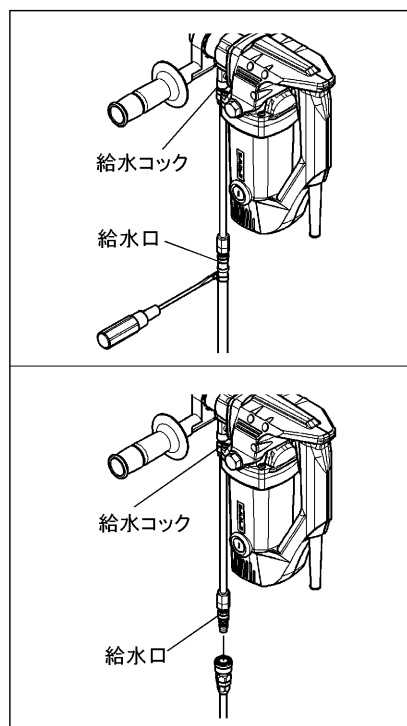
⚠ 注 意

1. 使用する湿式用集じん機の取扱説明書に従って使用してください。
2. 吸着式水処理パッドは、穴あけ中に落下しないようにしっかりと吸着してください。
3. 吸着式水処理パッドを壁面に設置する場合は、パッドの口穴から水があふれ出ないよう注意してください。

【4】給水の準備

準備するもの

ホース
…１ケ

ホースバンド
…１ケ

ドライバー
…１ケ

◎ 給水コックを閉じて、給水口に水道からのホースを給水用カプラーまたは、ホースバンドで接続してください。

⚠ 注 意

1. アンカードリル本体の破損の原因になりますので、給水には必ず清水を使用してください。
2. 穴あけ作業中に給水が止まらないようにしてください。給水不足になるとアンカービットがロック（固着）する恐れがあります。

【5】穴あけ作業

⚠ 警 告

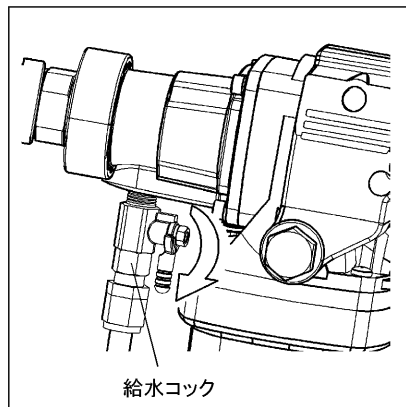
1. 電源にプラグを差込む前に、メインシャフトのロックレバーがOFF（16頁①参照）になっていることと、トリガースイッチのロックボタンが入っていないことを必ず確認してください。

2. 穴を貫通させる場合は、貫通側の安全対策を行った上で作業してください。

1) プラグを電源に差込んでください。

2) 給水コックを開き、水道の蛇口をあけ、給水量を調整してください。

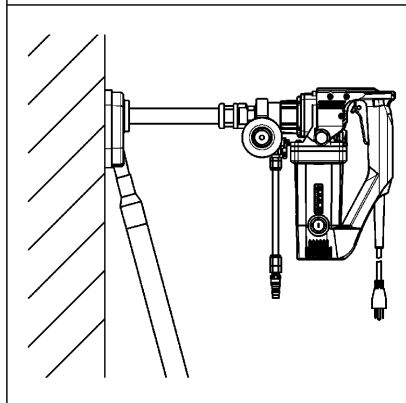
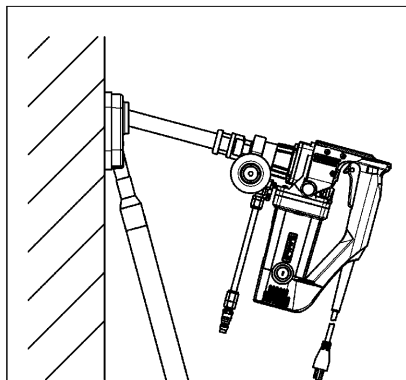
⚠ 注 意

1分間に2リットル程度、給水してください。

3) トリガースイッチを引き、切込みを行ってください。

① アンカービットを吸着式水処理パッドの穴に差込んでください。

② アンカードリル本体を穴あけ面に対し少し傾けた状態にしてください。

③ トリガースイッチを引き、全速回転になったら穴あけ面に刃先をあててください。

④ 穴あけ面に刃先が入り安定したら、アンカードリル本体を戻し、一定の推力（押付け力）で穴あけ面に直角に押してください。

⚠ 警 告

切り込み時はアンカービットがブレやすいので注意してください。

⚠ 注 意

アンカービットが穴あけ面に接した状態でアンカードリルを起動させると、アンカービットやアンカードリルの破損の恐れがあり危険です。

ポイント

本機は約2秒で全速回転になります。

⚠ 警 告

1. 音や振動などに異常を感じた場合は、ただちに作業を中断して、電源からプラグを抜いてください。
2. モータ回転中は、モータ部の風穴をふさいだり、風穴に物を入れないでください。また回転部分に触れないでください。
3. 穴あけ途中で鉄筋・異物にあたった時は穴あけを中止してください。このアンカードリルは鉄筋切削用ではありません。そのまま穴あけを続けると、アンカービットやアンカードリルの破損および事故などの恐れがあり危険です。

⚠ 注 意

無理に穴あけ面に押し付けると、アンカービットの摩耗増加・切削能率の低下を招きます。

ポイント

深穴の場合は、セリが発生しやすくなり切削効率が悪くなります。セリを解消する為に切削コアを抜くことをお勧めします。

4) 所定の穴あけ深さまで切込んだら、アンカービットを穴から抜いてトリガースイッチを離し、メインシャフトの回転を止め給水を止めてください。

⚠ 警 告

1. 給水を止めたままアンカービットを穴あけ面に残すと、ねばりつく恐れがあります。
2. アンカービット内に残った水が飛散しないように注意してください。

5) プラグを電源から抜いて、アンカービットの内部を点検し、切削コアが残っている場合は取除いてから次の穴あけを行ってください。

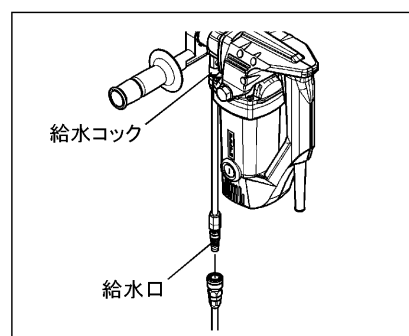
⚠ 警 告

1. プラグを電源から抜く時は、コードを引張らないでください。 濡れた手や手袋で、プラグや電源コンセントに触れないでください。感電する恐れがあり危険です。
2. 穴あけ終了後に切削コアが残っている場合は、アンカービットから切削コアが飛び出さないように注意してください。特に高所作業の時は、切削コアの落下に十分注意してください。

【6】穴あけ作業終了

1) 給水口からホースを取りはずしてください。

⚠ 注 意

ホースを取りはずす時に、モータ等に水が飛散しないように注意してください。

2) 吸着式水処理パッドを穴あけ面から取りはずし、湿式用集じん機のスイッチを切って、ホースを取りはずしてください。

▲ 警 告
吸着式水処理パッドを穴あけ面に吸着した状態で、集じん機のスイッチを切ると、パッドが落下する恐れがあり危険です。

⚠ 注 意
吸着式水処理パッドを取りはずす時、吸着式水処理パッド内に残っている排水や、ヘドロが出てくる恐れがありますので注意してください。出てきた排水は、湿式用集じん機などで吸い取ってください。

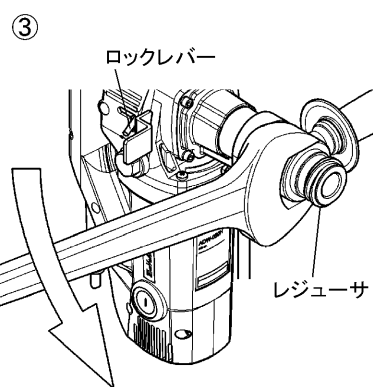
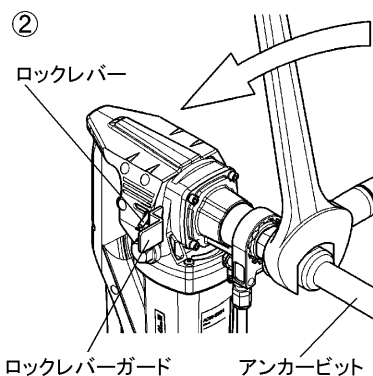
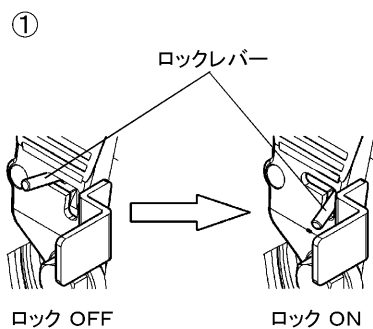
3) 下記の手順でアンカービットおよびレジューサをはずしてください。

① ロックレバーを右図のように移動させて、ロックする（かみ合う）までアンカービットをまわしてください。

⚠ 注 意
鉄ハンマー等で叩いて、ロックON・OFFの切替えを行わないでください。切替えができなくなる恐れがあります。

② スパナ（32mm）をかけてアンカービットをはずしてください。

③ ①の手順でレジューサをまわし、ロックさせてスパナ（36mm）で、レジューサをはずしてください。

ポイント
1，錆びつき等で、上記方法ではずれない場合はスパナを2本使用してはずしてください。 2，アンカービットおよびレジューサを取りはずした後、ねじ部にグリースを塗布しておくと、錆付き防止になります。

①
②
③
4) サイドグリップを取りはずしてください。

９．作業中のトラブルと対策

【1】 作業中のトラブルと対策方法

作業中に異常を感じたら、ただちに作業を中断し、プラグを電源から抜いた後に、安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

トラブル	原 因	対策方法
アンカービットの回転が止まった	アンカービットがロックした	「アンカービットがロックした」の項を参照
	ギヤボックス部の故障	修理
	モータが停止した	「モータが停止した」の項を参照
アンカービットがロックした	鉄片または切り粉などが、切削コアとアンカービットの間に挟まっている	本書「アンカービットがロックした場合の解決方法例」を参照
	給水不足でアンカービットが固着している	上記の方法で解決した後に給水量を調整する
モータが停止した	プラグが電源から抜けている	―
	カーボンブラシの異常	本書「定期点検」を参照
	モータ部の異常	修理
モータの回転が遅くなった	作業中一定以上の負荷が加わると、自動的に回転が下がる過負荷防止機能が作動している	穴あけ中の推力（押付け力）を弱めてください。
振動が大きい	メインシャフトの芯ブレ	修理
	アンカービットの芯ブレ	新品交換
	切削コアが折れている	切削コアをアンカービットから取出す
切れ味が悪い	鉄筋を切削している	―
	給水量が多い	給水量を少なくする
	電源容量が小さい	電源容量を大きくする
	アンカービットの目づまり	ドレッシングを行う
	アンカービットが摩耗している	新品交換
	切削コアが折れている	切削コアをアンカービットから取出す

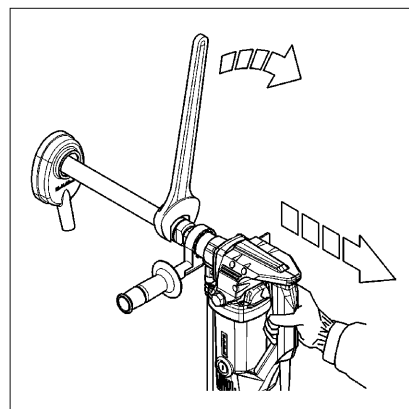
【2】アンカービットがロックした場合の解決方法例

⚠ 警 告

アンカービットがロックした場合は、ただちに作業を中断し、プラグを電源から抜いてください。

◎ 片口スパナ(36 mm)でアンカービットをゆっくり回転させ、アンカービットが抜ける位置を探りながら、アンカードリルを少しずつ引抜き方向に移動させ、穴あけ面より抜いてください。

⚠ 注 意

アンカードリルを無理にこじらないでください。故障・破損を起こす恐れがあります。また、アンカービットの刃部(チップ)が脱落する恐れがあります。

10．点検・保守・修理

⚠ 警 告

点検・保守の際は必ずプラグを電源から抜いてから作業を行ってください。プラグを電源につないだまま保守等を行うと、感電や事故の原因になります。

【1】作業前点検

◎ アンカードリル・サイドグリップ・吸着式水処理パッド・アンカービットに、亀裂・破損はないか、またコード被覆部・プラグに、亀裂・損傷はないか点検してください。
異常があった場合、最寄りの「販売店およびコンセック各営業所」にお問い合わせください。

【2】定期点検

1．各部取付ねじの点検

◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締めなおしてください。

⚠ 注 意

ゆるんだままで使用すると、事故などの原因となり大変危険です。

【3】保守

1) 作業後は、表面の清掃を行ってください。
アンカードリルの外枠は、ギヤケース部がアルミ製で、モータ部およびハンドル部が強靭な合成樹脂製です。
モータ部およびハンドル部外枠に、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると、表面を痛めます。
モータ部およびハンドル部外枠の清掃の時は、乾いた布か石鹸水を付けた布などで拭いてください。

2) モータ部の保守
使用後は、アンカードリルを危険のない状態で無負荷運転させ、モータ内部のゴミ・ほこりなどを排出してください。

3) 吸着式水処理パッドの清掃
水洗いをして、内部の切り粉等を除去してください。

4) レジューサおよびアンカービットの冷却・清掃
室温で冷却した後、水洗いして刃およびシャンクの部分の切り粉を除去してください。

⚠ 注 意

水洗い後は必ずねじ部にグリースを塗布してください。そのままにしておくと錆びる恐れがあります。

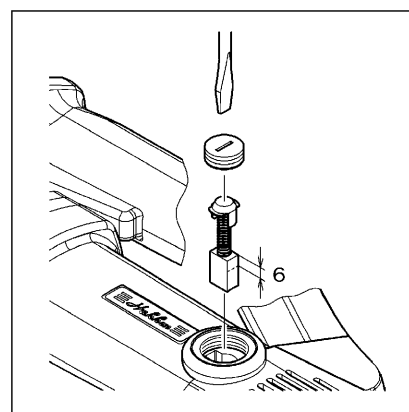
2. カーボンブラシの点検・交換

1）点検方法

○ カーボンキャップをマイナスドライバー（2番）などではずし、カーボンブラシを取出してください。
点検後は、カーボンキャップをしっかりと締付けてください。

2）点検項目

○ カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モータ故障の原因となりますので、定期的に点検し、長さが摩耗限度線（6mm）くらいになりましたら、新品と交換してください。

○ カーボンブラシはきれいにして、ブラシホルダー内で自由にすべるようにしておいてください。

⚠ 注 意
当社指定のカーボンブラシを使用してください。

3. グリスの交換について

◎ 本機にはグリスが封入されています。本機を長持ちさせるために、1年ごとにグリスの交換をお勧めします。その際に、廃棄処理等の問題もありますので、最寄りの「販売店およびコンセック各営業所」にお問い合わせください。

【4】修理について

◎ 本機は厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、最寄りの「販売店およびコンセック各営業所」にお問い合わせくださ

◎ その他、取扱い上でご不明な点がありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

11．製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、 下記のような場所は避け、 安全で乾燥した場所に保管してください。

◇お子様の手がとどいたり、 簡単に持ち出せる場所
◇鍵のかからない場所
◇軒先など雨がかかったり、 湿気のある場所
◇温度が急変する場所
◇直射日光のあたる場所
◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている商品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。

株式会社コンセック

本　　　社　〒733-0833 広島市西区商工センター４－６－８
TEL (082)277-5451　FAX (082)278-6389
第二事業本部　TEL (082)277-5452　FAX (082)278-6389

型式名	ADW－030H －S	検　印
製造番号		

E1411-1